



喜多見きたみにあった当主屋は、敷地の東側  
のぼりとみちいかにみちを登戸道、北側を筏道が交わる場所に  
建っており、2代目の頃に「さかや」という  
屋号で酒屋も営んでいたといわれている  
農家でした。

建築年代は不明ですが、弘化3(1846)  
年以前に建築されたと考えられます。

間取りは喰い違いよつま四間取りですが、  
ダイドコロを土間部分まで張り出して  
店棚としています。その他に店造りの特徴  
として、ヒロマの天井を高くした広い空間  
や、主屋ひがしつまの東妻側の船柵造り、土間の上部  
に設けられた厨子二階(中2階)などが  
みられます。



屋内のようす



ドマのようす

世田谷区指定有形文化財

きゆうしろたけじゆうたくおもや  
旧城田家住宅主屋